

【三大学病院合同】放射線科 IVR 専門修練プログラム

【宮崎大学の特色】

1. 連携プログラム内での宮崎大学としての特徴

- 1) 放射線科専門医・放射線科診断医およびその上級専門医である IVR 専門医資格の取得を目指すプログラムです。現在、宮崎大学関連病院において IVR 専門医修練認定施設となっている施設は宮崎大学附属病院のみですので、IVR に関連したトレーニングは大学において行います。しかし、IVR の基本となる診断能力向上も必要ですので、診断トレーニングに関して日本医学放射線学会認定の専門医修練機関において診断トレーニングを受けつつ、IVR の経験症例を積み重ねることも可能です。
- 2) 血管系 IVR では、HCC へのカテーテル治療をはじめ、術前塞栓術、動脈拡張術・ステント留置、CV リザーバーなど多種多様の治療において、術者あるいは第 1 助手となる機会が多く得ることができます。
- 3) 当大学放射線科では、内視鏡検査や内視鏡下消化管治療のトレーニングも行っています。
- 4) 代表的 IVR 手技である塞栓術・止血術は救急医療の中でも重要なアイテムです。外傷や急変患者といった状態の悪い条件において、X-P や超音波検査、CT 検査などから短時間で情報を拾い上げ、治療方針を提案し、IVR が最適な方法であればすぐに対応しなければなりません。緊急 IVR は、待機の検査・治療と異なり、患者の全身管理を行いながら、poor な画像しか得られなくとも、短時間で確実に処置を行う必要があります。その為には、緊急に対応できる診断能力、患者の全身管理能力、IVR 手技の向上のみならず、他診療科との連携・信頼性を築くことが必要です。現在、当大学では十分な他診療科・他施設との連携により、救急医療においても十分に IVR 手技を發揮しています。
- 5) IVR は過去から現在、未来へ継承される技術です。現在のように優れたデバイスや IVR 関連機器がなかった時代に、多くの先輩方が工夫してきた技術を継承していきたいと考えています。

2. 実施責任者 田村正三（診療科長）

3. 指導責任者 榮 建文（日本医学放射線学会診断専門医、日本 IVR 学会専門医）

4. 関連施設、学会認定状況

宮崎大学医学部附属病院（IVR 専門医修練認定施設、日本医学放射線学会専門医総合修練機関）

藤元早鈴病院（日本医学放射線学会専門医総合修練機関）

宮崎県立宮崎病院（日本医学放射線学会修練機関）

宮崎県立延岡病院（日本医学放射線学会修練機関）

古賀総合病院（日本医学放射線学会修練機関）

5. その他

附属病院勤務の場合は医員（宮崎大学附属病院非常勤医師）待遇となります。研修を重視しながら、経済的生活も保証します。

6. 連絡先

宮崎大学医学部 病態解析医学講座放射線医学分野

〒889-1692 宮崎市清武町木原5200

研究棟 TEL : 0985-85-2807 FAX : 0985-85-7172

IVR 指導責任者 榮 建文 tate@fc.miyazaki-u.ac.jp

放射線科医局長 桑原 一郎